

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 2 9 年 度 第 3 回 行 田 市 市 民 公 益 活 動 推 進 委 員 会
開 催 日 時	平成 3 0 年 3 月 2 0 日（火）開会 10 時 00 分・閉会 11 時 20 分
開 催 場 所	行 田 市 役 所 3 0 5 会 議 室
出 席 者 氏 名	生沢弘幸 山口尚美 小池佐栄子 羽鳥優治 石橋和夫 松井秀二郎 今村武蔵 駒見行彦 智田輝史 澤田春雄 田尻要 川村達也 川村睦子 ※敬称略
欠 席 者 氏 名	金原二郎 串田隆義 小河原宏之 加藤智宏 黒澤典弘 岡戸修平 ※敬称略
事 務 局	地域づくり支援課：菅原課長、吉田主幹、内沼主査、西尾主任（他に市民活動サポートセンター職員 2 名）
会 議 内 容	1 委嘱状交付 2 委員長及び同職務代理者の選出 3 委員長挨拶 4 議 事 (1)会議録の作成及び会議の公開について (2)委員の代理出席に伴う委任状の取扱いについて (3)市民公益活動推進基本計画の推進について (4)平成 29 年度市民活動サポートセンター事業の振返りについて (5)平成 30 年度市民活動サポートセンター事業（案）について (6)その他
会 議 資 料	(1)資料 1 行田市附属機関等の会議録の写し及び会議資料の公表の方法に関する要領 (2)資料 2 行田市市民公益活動推進委員会会議傍聴要領 (3)資料 3 行田市市民公益活動推進委員会設置条例 (4)資料 4 代理人選任届 (5)資料 5 市民公益活動推進基本計画 推進体制（案） (6)資料 6-1 行田市に設立された市民活動サポートセンターの効果と課題に関する基礎的検討 (7)資料 6-2 N P O 団体・市民活動団体向け意向調査 (8)資料 7 市民活動サポートセンター講演会開催実績（H27～H29 年度） (9)資料 8 平成 30 年度における市民活動サポートセンター主催の事業（案）
その他必要事項	傍聴人なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会 委 員 長 司 会 事 務 局 事 務 局 事 務 局 議 長	○ 開 会 ・開会を宣言 ・会議成立の旨の報告（過半数の委員の出席による） ・傍聴者なしの旨の報告 など 1 委嘱状交付 ・任期更新による新委員への委嘱（新規 6 名／継続 13 名） 2 委員長及び同職務代理者の選出 ・委員長としてものつくり大学大学院・田尻教授を、同職務代理者として埼玉県利根地域振興センター県民生活担当・川村担当部長をそれぞれ選出 3 委員長挨拶 ・あいさつ 4 議 事 ・要綱の規定により、会議の議長を委員長が務める旨の説明 (1)会議録の作成及び会議の公開について ・資料 1 及び資料 2 に基づき説明 ・作成及び公表の方法並びに原則公開とする旨が了承された。 (2)委員の代理出席に伴う委任状の取扱いについて ・資料 3 及び資料 4 に基づき説明 (3)市民公益活動推進基本計画の推進について ・資料 5 に基づき説明 ・各委員の役割分担について事務局案の提示 ・各委員の役割分担の決定（資料 5 完成版のとおり） ・各委員及びサポセン（「行田市市民活動サポートセンター」のこと。以下同）職員でサポートし合って取り組んでいかなければならない。 ・本計画期間も残り 2 年である。計画の改訂や次期計画の策定を視野に入れながら、計画の推進に御協力願いたい。 (4)平成 29 年度市民活動サポセン事業の振返りについて

事務局	・資料 6-1 及び資料 6-2 に基づき説明
事務局 議長 松井委員	(5)平成 30 年度市民活動サポセン事業（案）について ・資料 7 及び資料 8 に基づき説明 ・何か意見等あるか。 ・サポセンの本分は「行政の一つの窓口」ではなく「活動しやすい場所の提供」だと思う。 ・今の場所では、それを十分に果たせないと思っている。場所を再検討してもらわないと、いつまで経っても人は集まらない。 ・本気でやるのなら、隣にあるギャラリーをうまく活用するか、場所そのものをどうにかしないと「常に人が集い、何か作業をしている」ような場所にはならないだろう。 ・最近、熊谷のサポセン（「熊谷市市民活動支援センター」のこと。以下同）へ行く機会が多いのだが、所長の人柄によるところもあるのかもしれないが、敷居が低くとても訪れやすい雰囲気である。 ・片や行田はと言えば、ただサポセンを設置しただけで「そこにありますよ」で終わっている印象である。 ・書類を安くコピーできるなどのメリットもないので、はっきり言って行く必要性がない。
今村委員	・活動団体が必要としているのは、コピー機を安く利用できたり、一番は事務所として利用できる場所だと思う。 ・その辺りを考えると、隣接するギャラリーの稼働率がどの程度か知らないが、あの広い空間を有効に活用できないか。 ・たとえば、事務所を数ヶ所設けられるように間を仕切るとか、印刷室を作るとか、或いはパソコンを設置できるとか、そのようにできればとても使いやすくなると思う。 ・実は今般、新たに N P O 法人行田市民大学活動センターを立ち上げたのだが、活動拠点をどこに設けるかというのが目下の課題となっている。 ・とりあえず私宅を事務所としているのだが、別の N P O 法人も運

事 務 局 議 長 生 沢 委 員	営しているため、そちらの事務所にもなっている。 ・ただ、そちらに関しては、大変ありがたいことに西小学校にある空き教室を控え室として提供してもらっているのも、そちらを朝から晩まで自由に使わせてもらえる状況にある。 ・会合も持てるしパソコンやコピー機も設置できるので、色々なことが円滑に運び、非常に便利している。 ・市が今後、市民活動をいっそう充実させていこうとするのなら、いま提案したようなギャラリーの活用等を真剣に検討していただきたい。 ・それが適えば、活動団体もサポセンを利用しやすくなるだろう。 ・ギャラリーについては、昨年 10 月にコミセン（「コミュニティセンターみずしろ」のこと。以下同）全体を有料化したばかりでもあるので、利用状況等を勘案しながら、全面をそのようにするか或いは一部か等も含め、研究していきたい。 ・ただ、費用を要するものなので、すぐにすぐというのは難しい。時間をいただきたい。 ・この問題の難しさは、利用者がいるから拡充するのか、^{はたまた}将又、拡充するから利用が増えるのか、まさに「卵が先か鶏が先か」の議論となるところにある。 ・我々にいま出来ることは、現状のサポセンを積極的に活用していくこと、それ以外にない。自戒の念を込めて申し上げる。 ・「サポセンはいつ訪れても予約や人でいっぱいだから、何とかしてよ」と悲鳴を上げるような状況になれば、行政も動きやすい。 ・そうでないと、財政当局に予算要求しても「いつ行っても閑古鳥が鳴いているのに必要ないでしょう」と一蹴され、それ以上進めなくなることは目に見えている。 ・行田市民大学で 2 年間学んできた中で、空き家対策に興味を持った。 ・ものづくり大学の学生は、ドミトリー（寄宿舍）に 1 年時しか住むことができず、その後は出て行かなければならない。
---	---

事務局

- ・そうして出て行った学生の8割が、鴻巣市（旧吹上町）に住んでしまう。行田には空き家が多いので、そこをシェアハウスとして活用できればと考え、大学側の協力を得て学生にアンケート調査を行った。
- ・その結果、かなりの学生から「料金が安いなら住みたい」との回答を得た。
- ・横須賀市に成功事例があるのだが、それを何とか行田市に導入できないかということで、担当部署の部長等を招いてプレゼンテーションを行ったり、その後も定期的に問い合わせたりしているが、一向に事が進まない。
- ・そのような折に自分を助けてくれたのが、熊谷のサポセンの小林所長だった。
- ・熊谷では、同センターの主催で「空き家活用百花繚乱」と題した発表会が行われた。そこで紹介されていた事例の一つに、野本翔平市議の物件があった。
- ・要するに何が言いたいかというと、私がサポセンの存在を知ったのは実は今日である。活動する中で困っていたときに、存在を知らなかったので頼ることができなかった。
- ・熊谷市はサポセンの存在をしっかりと表明している。つまり「場所以前の問題」ということだ。もっと市民に知ってもらうためのPR活動が不足している。
- ・市民全体に対し、とにかく存在をアピールしていくことが肝要である。
- ・こちらとしても、これまで市報で見開き1ページを使って特集を組んだり、次回も6月号に記事を掲載予定であったりと、無策で来たわけではない。
- ・それでもなかなか認知度が上がらないのが実態であり、そこに歯がゆさがある。
- ・そうした状況を打開するため、今後はサポセンのチラシを作成して市内公共施設に掲示、配架したり、或いは配布にあたり委員の

駒見委員	皆様のお力添えをいただくこともあるかもしれないが、いっそう周知に努めてまいりたい。 ・逆に、周知の方法について、委員の皆様方から何か妙案があれば、御教授いただけると助かる。 ・認知度向上の近道は、ワールドカフェのような会合を開き、そこへ各団体からメンバーを一人でもよいから出してもらい、といった手法を採ることだと思う。 ・もしそれが出来ないのであれば、事務局の方から各団体の元へ出向き、草の根的にPRしていく以外ないのではないか。 ・我々も出来ることはやるので、事務局にも足で稼ぐような行動を取ってもらいたい。
事務局	・かつて平成21年頃にフォーラム的なものを開催したのだが、そのときは参加団体も少なく「こんなことしても意味がない」など厳しい御意見の方が多かった経緯がある。 ・こちらから団体側に出向いていくという能動的な姿勢は、それが団体の普段の様子を知ることにも繋がるので、前向きに検討させていただきたい。
議長	・松井委員が代表を務めるNPO法人行田市民'Sネットのように、隈なくとはいかないまでも各団体に足を運び、御用聞きのような活動をやっているところもある。 ・事務局やサポセンが似たようなことをしたからといって、すぐに認知度が上がったり需要を掘り起こせたりするかと言えば、なかなか難しいところもあるだろう。 ・やはり認知度を高めるためには「時間」と「繰り返し（反復）」が大切なのだと思う。とにかく「怠ることなく継続する」これに尽きる。
石橋委員	・私の団体でも、熊谷のサポセンをよく利用している。というのも必ず他の団体の方も来ているので、イベントのチラシを持っていけばその場で渡せるし、用事が一度に済むメリットがあるからだ。

生 沢 委 員	・つまり、行田のサポセンでも、たとえば毎週、或いは隔週でもよいので「土曜の〇〇時から各団体がサポセンで交流してます」とかそういう状況があれば「じゃあチラシを持って行こう」となる。 ・人がいるから交流ができる。今日のような会議は招集されたから来るけれど、それ以外では集まらない。 ・松井委員の市民’ S ネットは、サポセン内の活動スペースをよく利用しているようだが、不定期でいつもいるわけではない。 ・サポセンに来て、他に誰もいなければ空振りで終わってしまう。色々な団体が定期的に集まっているような状況があれば、人がいることでまた人が来る、人が人を呼ぶ好循環が生まれ、いつの間にか賑わいが生まれていた、という望ましい結果に繋がる気がする。 ・横の繋がりは大さだと思ふ。私が熊谷のサポセンへ相談に行ったとき、紹介されたのが県の共助社会づくり課だった。行田の空き家対策で活動しているにも関わらず、である。 ・そこで横の繋がりでもってサポセンが紹介されなかったということは、それだけ活動量が少ない、推薦できないサポセンということだろう。 ・熊谷のサポセンでは、いつも飲み物やお菓子などが置いてあり、気軽に相談できる雰囲気が出されている。行田でもふらりと立ち寄れる、相談できるサポセンが必要だ。 ・隣町のサポセンへ行った際に「行田の〇〇さんのところへ相談に行きなさい」と言われるようなレベルでないと駄目だと、私は思う。
松 井 委 員	・コミセンは飲食禁止になっているが、そういう考え方が駄目なのだ。飲食も出来ない場所では人は集まらない。
今 村 委 員	・サポセン職員の2人は一生懸命やっていると思うが、結局、最も大事なのは「人材」である。私は、本来であればコミセンの所長がその役割を担わなければならないと思っている。 ・色々な団体の活動をよく知っている、或いは市のことをよく知

	っている、そういう人材を置かなければ駄目だ。相談に行っても的確なアドバイスが出来なければ、誰も行かないと思う。 ・コミセンの所長は市職員の再任用であると聞くが、現役時代にしかるべき職位にあった方が配置されているのだから、そういう方が表に出てこないことが、事態が進展しない原因の一つだと思う。 ・今日のこの会議も、行政側の委員が3課のうち1課からしか出てこない。この有り様では議論も前に進まない。 ・私は行田検定実行委員会の委員長を務めているのだが、その会議でも、市の関係部署の所属長がメンバーになっているにも関わらず、出席率が極めて低かった。 ・全員を出席させるよう事務局に申し入れたので、最近の会議では皆の出席を得るようになったが、要はそれくらい取り組まないといつまで経っても前には進まない。 ・この会議にも、部長は一度も顔を見せたことがない。課長も今日初めて出席したと思ったら、挨拶だけで退席してしまった。こういうことでは駄目だ。つくづくそう思う。
松井委員	・我々のフラストレーションも溜まっているということだ。新しく委員になられた方々は面食らったかもしれないが…。 ・ただ、それだけ寄せる期待は大きいのだと思う。それに対してハードもソフトも中途半端で悶々としている、というのが今の我々の姿なのだろう。 ・そういう状況なので「隣の芝生が青く見えた」ということだと思う。特に熊谷の場合は、所長の人柄によるところが大きいだろう。
石橋委員	・確かに、仲間作りをテーマにサポセンから講演をお願いしているくらいだから、人物だろう。
松井委員	・あの所長も、皆から結構好き勝手なことを言われているが、それを受け止められるだけの器量があるのだと思う。
議長	・確かに皆さんの仰るとおり「人材」という部分は大きいのだと思う。宮代町における進修館の例も然りだろう。

澤田委員	・ 新任委員の皆さん。このように思いの丈をぶつけ合うのがこの委員会のスタイルなので、堅苦しく構えず、どんどんフランクに発言していただければありがたい。 ・ 一つだけ言わせていただくが、今日の会議は日時の設定が悪かった。彼岸なので他に用事が入っていた。 ・ 事務局には今日出た意見を実行していただきたい。
議長 松井委員	(6)その他 ・ 他に意見等あるか。 ・ 「協働の概念」に関するチラシの配布及び説明 ・ 予定していた議題は全て終了した。これにて議長の職を解かせていただく。
議長 司会	○ 閉 会 ・ 閉会を宣言